



出身国情報主要文献

# カメルーン

---

2009年3月16日

英国国境庁  
出身国情報サービス

---

## 目次

1. はじめにPREFACE .....	3
2. カメルーン基本情報 .....	4
地理 .....	4
地図 .....	5
近年の歴史 .....	6
最近の出来事と政治的進展 .....	7
経済 .....	8
人権 .....	9
概要 .....	9
刑務所の環境 .....	11
女性 .....	11
児童 .....	12
レズビアン、ゲイ、バイセクシャルおよびトランス・ジェンダー .....	12
信教の自由 .....	13
言論・報道の自由 .....	14
集会の自由 .....	15
政治的結社の自由 .....	15
人身売買 .....	16
3. 主要出典文献の目録 .....	17
基本データ及び地理 .....	17
地図 .....	17
歴史 .....	17
政治情勢及び最近の進展 .....	18
人権—一般的事項 .....	19
人権—具体的事項 .....	20
児童 .....	20
死刑 .....	21
民族グループ .....	21
言論・報道の自由 .....	21
信教の自由 .....	22
人権団体、組織及び活動家 .....	22
エイズ .....	22
国内避難民 (IDP) .....	22
司法 .....	23
レズビアン、ゲイ、バイセクシャルおよびトランス・ジェンダー .....	23
保健医療問題 .....	23
兵役 .....	24
政治的所属 .....	24
人身売買 .....	24
刑務所の環境 .....	24
治安部隊 .....	24
女性 .....	25
4. 出典文献に関する参考資料 .....	27

## 1. はじめに

- i このカメルーンに関する出身国情報主要文献(COI 主要文献)は、難民人権保護認定プロセスに携わる職員のために、英国国境庁(UKBA)COI サービス局が作成したものである。本レポートには、英国における難民人権認定申請に取り上げられる共通の問題に関する基本情報が示されている。本 COI 主要文献に含まれている情報は 2009 年 3 月 1 日時点で入手可能であったものである。本 COI 主要文献は、2009 年 3 月 16 日に発刊された。
- ii 本 COI 主要文献は、広く認められた外部情報ソースにより作成された主要レポート、文献、および記事を目録として列挙したものであり、そこには UKBA の見解やポリシーは一切含まれていない。
- iii 英国国境庁のユーザーのために、COI 主要文献の中で参照されている出典文献の目録にはその文献を載せているウェブサイトのリンクが貼られているので、インターネットを通じてそれら文献に直接アクセスできるようになっている。また、目録にはウェブリンクと共に本レポート作成者が該当のサイトにアクセスした日付も一緒に示されているので外部のユーザーにとっても便利なものとなっている。
- iv 上述の通り、確認された文献は主に人権問題に焦点を当てたものである。人権問題記述の前置きとして、カメルーンに関する基本情報の概略も示されている。しかし、それは、目録にある文献の内容を要約するものではないことを注意されたい。
- v 本 COI 主要文献及び目録にある文献はすべて一般公開されるものである。
- vi 本 COI 主要文献に関するコメントあるいは追加原資料のサジェッションは下記 UKBA 宛てにお送り頂けると幸いである。

Country of Origin Information Service  
**UK Border Agency**  
Apollo House  
36 Wellesley Road  
Croydon CR9 3RR  
United Kingdom

**Email:** [cois@homeoffice.gsi.gov.uk](mailto:cois@homeoffice.gsi.gov.uk)

**Website:** [http://www.homeoffice.gov.uk/rds/country\\_reports.html](http://www.homeoffice.gov.uk/rds/country_reports.html)

### 国情報に関する専門委員会

- vii 国情報に関する独立専門委員会(APCI)は、UKBAの出身国情報資料の内容につき内務大臣に提言することを目的として 2003 年に設立された。APCIは、多くの COI レポートをレビュー・検証し、その検証結果をウェブサイト ([www.apci.org.uk](http://www.apci.org.uk)) 上に公開する。2008 年 10 月以降、APCIの業務は、UKBA主任検査官により進められている。

目次に戻る  
出典文献目録に進む

## 2. カメルーン基本情報

**正式国名:** カメルーン共和国

**面積:** 475,440 平方キロメートル。

**人口:** 18,467,692 人(2008年7月推計)

**首都:** ヤウンデ

**言語:** フランス語及び英語が公用語。24のアフリカ土着言語が話されている。

**宗教:** 土着信仰 40%、キリスト教 40%、イスラム教 20%。

**通貨:** CFA フラン (対ユーロレート固定)。

**主な政党およびリーダー:** カメルーン民主連合 (UDC), アダモウ・ンダム・ンジョヤ;  
カメルーン人民民主連合(RDPC), ポール・ビヤ; 共和国防衛連合(MDR), ダコーレ・ダ  
イッサラ;カメルーン自由発展連合 (MLDC), マーセル・ブウガ; 民主革新国民連合  
(UNDP), マイガリ・ベッロブーバ; 革新運動 (MP); 社会民主戦線 (SDF) ジョン・フ  
ル・ンディ; カメルーン人民連合 (UPC) オーガスティン・フレデリック・コドック。

**国家元首:** ポール・ビヤ大統領

**政府首長:** エフライム・イノニ首相 (2004年12月8日就任)

**内閣:** 閣僚任命は首相提案を大統領が承認。

**選挙:** 大統領は任期7年(再選一回可)。国民選挙で選出(前回は2004年10月11日、次回は2011年10月に予定)。首相は大統領が指名。

**選挙結果:** 大統領にポール・ビヤを再選。得票率は: ポール・ビヤ 70.9%, ジョン・フル・ンディ 17.4%, アダモウ・ンダム・ンジョヤ 4.5%, ガルガ・ハマン・アッジ 3.7%。  
(2009年2月24日付け中央情報局ワールド・ファクトブック) [1]

### 地理

外務英連邦省(FCO)の2008年1月7日付けのカントリープロフィールには次のように記されている。

「カメルーンは、ギニア湾に面し、ナイジェリア、チャド、中央アフリカ共和国、コンゴ共和国、ガボンおよび赤道ギニアと国境を接している。国の北部は砂漠平原とサバンナ、中央部は山地、南部と東部は熱帯雨林地帯である。」 [3]

[目次に戻る](#)  
[出典文献目録に進む](#)

地図



カメルーンの地図掲載のウェブサイト：

<http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/cameroon.pdf> [20]

目次に戻る  
出典文献目録に進む

## 近年の歴史

外務英連邦省(FCO)の2008年1月7日付けのカメルーンカントリープロファイルには次のように記されている

「近代カメルーンは、1884年にドイツ保護領カメルンとして誕生した。1919年、国際連盟の委任統治の下、フランスが東部カメルーンを、英国が北部および南部を管理することになった。この委任統治は、1946年に国連信託統治に変わった。1960年にフランス統治カメルーンは独立し、アマドゥ・アヒジョが大統領に選出された。1961年2月、英国統治カメルーンの人々は、国連管理の国民投票に未来を託すことに決めた。北部カメルーンの人々はナイジェリアへの併合に賛成し、南部カメルーンの人々は新たに独立国として誕生したカメルーン共和国に加わることに賛成した。かくして、カメルーンは、東部カメルーン（旧フランス統治）と南部カメルーン（旧英国統治）を包括した連邦共和国となった。1972年、西部カメルーンにおける国民投票の結果、カメルーンは統一国家カメルーン連合共和国となった。

「1966年、アヒジョは、中部における大きな反乱を抑え、カメルーンを一党独裁国家とし、大統領に権力を集中することになった。1982年、アヒジョは健康不良を理由に大統領を降り、ポール・ビヤ首相に権限を委譲したが、支配政党であるカメルーン国家連合の委員長の座にはとどまらなかった。その後二人の間の抗争がつづいた。1984年、アヒジョに近いとみられる軍の一派によるクーデターが起こった。ビヤは生き残り、後に軍と支配政党のコントロールを奪回した。彼は、カメルーンの政治を改革・再活性化し、普通のカメルーン人国家を作らねばならないと訴えた。支配政党の名称は、カメルーン人民民主連合(RDPCまたはCPDM)と改められた。1990年、国内外からのプレッシャーを受け、ビヤは複数政党制の導入を認めた。

「複数政党制を導入した憲法が1992年に制定され、1996年には抜本的に改定された。それによると、大統領の任期は7年2期までとし、180人の国会議員は5年ごとに改選されることになっている。また、憲法では上院が設けられることになっているが、これはまだ実現していない。カメルーンには、選挙制地方議会がある。憲法の規定ではプロビンスを独自の議会をもったリージョンとすることになっているがこれもまだ実行に移されていない

「... 複数政党民主主義に移行された当初は、国中に広がる抗議運動や社会民主戦線(SDF)主導の血気盛んな反政府運動が体制を激しく揺さぶった。複数政党制になって最初の大統領選が1992年10月に行われたが、選挙戦では激しい争いと議論があった。ビヤ大統領が、野党SDFの党首ジョン・フル・ンディ候補に僅差(39~36%)で勝った。それ以降は、CPDMとビヤ大統領がカメルーンの政治舞台で優位を保ち続けることになる。1997年5月の議会選挙でもCPDMが勝利し、1997年10月の大統領選挙ではビヤが81%の支持(政府発表)を得て選出された。選挙プロセスは、再び野党の非難の的となった。

「2002年の議会選挙と2004年の大統領選挙も同じパターンであった。CPDMが国会支配を確固なものとし、ビヤ大統領が75%の支持(政府発表)を得て再選された。」(2008年1月7日付けFCOカントリープロファイル)[3]

2009年2月24日付けのCIAのワールド・ファクトブックには次のように記されている。

「カメルーンの国情は、概して安定しており、農業開発、道路・鉄道建設、石油産業開発などが順調に進んである。民主化改革へ向けての動きはかばかしくないが、政権はポール・ビヤ大統領を頭とする民族寡頭政治体制の手にしっかり握られている。」  
[1]

[目次に戻る](#)  
[出典文献目録に進む](#)

## 最近の出来事と政治的進展

外務英連邦省(FCO)の2008年1月7日付けのカメルーンカントリープロフィールには次のように記されている。

「国民議会選挙と地方議会選挙が2007年7月22日に行われた。CPDMが政権掌握をさらに固めることとなり、5つの地区で9月に再選挙が行われた結果、180議席のうち153議席をCPDMが占めることとなった。SDFの獲得議席は16であった。選挙人名簿はコンピューターにインプットされて透明性の向上が図られたが、投票率が低いという問題は残った。

「...国際社会は、カメルーンに対し、選挙組織を党派色の強いものから独立した組織にするよう求め、それを受けてカメルーン政府は、2006年12月29日に選挙管理組織(ELECAM)を創設した。この組織はまだ機能するに至っておらず、2007年7月の選挙は地域行政省が運営管理した。

「過去2年(2006年と2007年)、ビヤ大統領は、政府における汚職防止に尽力してきた。役人及び大臣の資産申告に関する法律も採択された。2007年12月、元大臣で元ドウアラ港長のアルフォンセ・シヤム・シウェが汚職の罪で30年の懲役刑の判決を受けた。同じケースで、元港湾委員長・ドウアラ港政府代表のエデュアード・エトンデ・エコトほかの者たちも相当の懲役刑を言い渡された。新たに汚職防止委員会(CONAC)が設置され、委員が任命された。」[3]

2008年4月、カメルーン国会はビヤ大統領の三選(2011年)を可能にするよう憲法を改訂した。野党はこれを「合法的クーデター」であるとして糾弾した。」(BBCニュース、2008年11月7日のカメルーン・タイムライン)[36h]

2008年8月、ナイジェリア政府は、長期にわたるカメルーンとの国境紛争に終止符を打ち、バカシ半島の領地をカメルーンに引き渡した。バカシ半島に住む人々は自らをナイジェリア人と思っているのだが、2002年の国際裁判所の判決では同領地はカメルーンの一部であるとしていた。その判決は、英独の間の20世紀植民地協定に基づくものであった。ナイジェリア政府はこの2002年判決に抗議してきたのだが、ついに2006年にカメルーンへの領地引き渡しに同意したのであった。この合意が2008年8月に実行に移されたのである。(BBCニュース2008年8月14日付けオンラインレポート「ナイジェリア、カメルーンにバカシ譲渡」)[36e]

[目次に戻る](#)  
[出典文献目録に進む](#)

## 経済

**GDP (公定レート換算):** 250 億米ドル相当(2008 年予想)

**GDP 成長率:** 4% (2008 年予想)

**1 人当たり GDP:** 2,400 米ドル相当 (2008 年予想)

**インフレーション:** 4.4% (2008 年予想)

**主要産業:** 原油、木材、ココア、コーヒー、アルニミウム、ゴム

**主要貿易相手国:** フランス、イタリア、ナイジェリア、スペイン、ドイツ、米国、  
(CIA ワールド・ファクトブック、2009 年 2 月 24 日) [1]

外務英連邦省(FCO)の 2008 年 1 月 7 日付けのカメルーンカントリープロフィールには次のように記されている。

「カメルーンの輸出収入は、数十年来、南部に広く栽培されているココアやゴムのプランテーションを含む農産物や木材に依存してきた。石油輸出は 1970 年代から始まり、今では輸出収入の 49% を占めている。しかしながら、新たに小規模の油田の開発がいくつか予定されているものの、石油生産量は、日産 85,000 バレル程度で横ばい状態となっている。新たな沖合油田の調査は続いているが、新たな発見がない限り、既存の埋蔵量は 10 年以内に枯渇しかねない。

「カメルーンの農産物輸出は国際市場の変動に左右されるが、カメルーンはフラン圏の一員であることから為替レートの安定とインフレのコントロールが保たれている。カメルーンは、IMF との間の取り決めである現行の貧困削減・成長 3 年計画の道半ばにある。

「カメルーンは、1980 年代に重債務国となった。200 年 10 月、カメルーンは、重債務貧困国イニシアティブ(HIPC)における債務救済対象国となった。カメルーンに対する HIPC の完了時点は何度か延長され 2006 年 5 月ようやく達成された。この遅れは、汚職防止運動を含む一連の改革路線に沿うカメルーンの財政管理に係る諸問題に起因するものであった。HIPC の達成により相当規模の債務救済が行われ、その中には英国政府からの二国間債務 1 億 600 万ポンドの帳消しも含まれていた。」 [3]

[目次に戻る](#)  
[出典文献目録に進む](#)

## 人権

### 概要

外務英連邦省(FCO)の2008年1月7日付けのカメルーンカントリープロフィールには次のように記されている。

「カメルーンの人権に関する記録はこれまでは不十分であったが、最近では充実して来た。いくつかのNGOや拷問に関する国連特別報告官の報告で、裁判外の処刑、裁判なき長期拘留、拘留者への拷問、刑務所のひどい環境などにかかわる最近の実態がはっきりしてきた。政治活動家が被害者であるケースは稀で、多くの場合は、治安部隊による違法行為の犠牲者のケースである。目を引くようなケースはこの5年で減ってきていると言ってよいだろう。

「報道の自由はあるが、ジャーナリストは嫌がらせを受けることがしばしばある。国際社会からの圧力（EU、英連邦、国連などを通じたものおよびバイラテラルなもの）がカメルーン政府に向けられ、司法制度改革を執行し、治安部隊における免責文化から決別するよう迫った。同政府は、1992年に人権委員会を設置した。2005年6月に国民議会を通過した大統領令により同委員会の法的立場および定期的な予算付与が確認された。政府は、最近、人権状況の改善に係るアクションを他にも取り始めた。たとえば、刑務所の過密状態を解消するため新たにいくつかの刑務所の建設を始めたり、2007年には人身保護令や推定無罪など主要な法的原則を法制化する新刑事訴訟法を施行したりした。時間とともに、長期間再拘留される人は少ないため、囚人の数が増えてくることが問題となってくる。」[3]

米国国務省の2009年2月25日付けカメルーンの人権に関するレポート2008年の序文には次のごとき記述がある。

「政府における人権に関する記録は不足している（2008年）が、2008年2月に食品と燃料の価格上昇に対する抗議運動が広まったことを受け、政府は数多くの人権侵害事件を起こした。治安部隊は不法処刑をしばしば行っているほか、拘束者や囚人に対する拷問、殴打などの虐待行為を行っている。刑務所の環境は苛酷で、死の脅威に満ちたものとなっている。分離支持の英語を話す人達、地元の人権モニター・活動家達、政府発行の身分証明書を持たない人達等が、当局により逮捕され拘束されている。裁判前の拘留が引き延ばされたり、時には隔離拘留になったりするケースや個人のプライバシー侵害のケースなどが起こっている。政府は、人々の言論、報道、集会、結社の自由を制限し、ジャーナリストにいやがらせを行っている。また、政府は、人々の移動の自由も妨げている。次のような問題もある。公務員の汚職の蔓延、女性に対する社会的暴力と差別、女性器の暴力的切除(FGM)、人身売買（特に未成年者）、少数民族ビッグミーに対する差別、先住民に対する差別、ホモに対する差別、等である。また、政府は、労働者の権利や独立の労働組合の活動も制限している。児童労働、世襲奴隷、児童を含む強制労働などの問題もある。[2a](序)

フリーダムハウスが2008年7月に発行した世界における自由ワールドレポート2008は次のように述べている。

「憲法は自由な発言を保証しているが、真の表現の自由とは何かははっきりしていない。民間のテレビ局やラジオ局も活動しており、独立新聞も十数紙発行されている。1996年憲法により、出版前検閲制度は廃止されたが、憲章第17条は公共秩序への脅

威を理由に新聞を発禁にする権限を役人に与えている。情報への平等アクセスを保証する法規定はなく、名誉棄損や中傷は依然として刑事罰の対象となる。ジャーナリストに対する裁判官による嫌がらせ、逮捕、拘束および拷問が恐怖を生み、メディア（特に国営メディア）の内部検閲につながっている。

「…信教の自由は概ね尊重されている。学問の自由に関する法規定はないが、国の情報スパイがキャンパスで活動しており、教授達の多くは自己検閲を行っている。

「公共の集会には当局の許可が必須とされ、これが集会・結社の自由に対する制約となっている。解散命令を受けている SCNC(カメルーン南部国民議会)の集会は常に妨害を受けている。通商組合の結成は認められているが、多くの制約や政府の干渉がある。

「裁判所は広範囲にわたり政治権力の影響を受けており、汚職もはびこっている。行政が司法をコントロールしており、県レベルおよび地方レベルの裁判官を任命する。内乱や武力闘争の組織などのケースは人民に対する裁判権は軍事法廷にある。諸々の情報機関が免責の下に活動している。拷問、拘束者に対する虐待、無期限拘留・裁判前拘留、過酷な拘置所環境などは日常的な事である。仏語圏民法の精神による人身保護法がないため、正常なプロセスが妨げられている。[21a]

アムネスティ・インターナショナルの 2009 年 1 月発行のカメルーンにおける人権侵害に関するレポートは次のように述べている。

「10年以上の間、国内及び国際的な人権擁護に関する規則に違反してカメルーン当局が命じ、看過し、あるいは冒してきた人権侵害に関する報告がいくつもアムネスティ・インターナショナルに寄せられている。例えば次のような人権侵害のケースである。恣意的な強制逮捕や不法拘束、裁判外処刑、人権擁護者・ジャーナリストへの虐待の脅威、表現及び結社の自由に対する権利否定、過酷な刑務所環境、拷問およびその他の残虐・非人道的または屈辱的な処遇、女性・少女の人権擁護の不履行、性的嗜好あるいはその疑いを理由として男女に与えられる迫害、等である。」 [11c](p1)

[目次に戻る](#)  
[出典文献目録に進む](#)

## 刑務所の環境

米国国務省のカメルーン人権レポート 2008 は次のように述べている。

「刑務所の環境は苛酷で、生命が脅かされるような状況にある（2008 年）。刑務所は過密で、不衛生である。すべての刑務所で、食料、医療サービス、公衆衛生サービスが著しく不足しているが、政府はそれを改善するための予算を用意してこなかった。しかしながら、刑務所の環境についてのマスコミ報道が顕著となり、刑務所での暴動や脱走が頻繁に起ったため、政府は、何箇所かに新しい刑務所を建設するための予算を付けることになった。ヤウンデに一か所、北部地域の果てのムールブーダエにも一か所建設されることになり、いずれも 2008 年末に完成の予定となった。

「刑務所は荒れ果てた植民地時代のもののままであり、計画容量の 4~5 倍の囚人を収容している。裁判待ちの長期拘留が多くなったことで過密状態は激化した。汚職の罪

に問われている政府職員達は、別棟に収監され特別扱いを受けている。いくつかの NGO の報告によれば、30~40 人用の部屋に 100 人以上が収監されていると言う。

「軍警察や警察署にある留置所では、保健・医療サービスはない。医療ケアが不足しているために囚人が死亡したという報告もいくつかある。」 [2a](セクション 1c9)

## 女性

米国国務省のカメルーン人権レポート 2008 は次のように述べている。

「カメルーン法はレイプを罰することになっているが、警察も裁判所も強姦事件を捜査し、起訴することは稀である。2008 年には少なくとも 7 件の強姦事件が報告されたが、1 人も逮捕されていない。性的暴力は社会的にタブーとされているため、レイプの多くは届け出されないままになっている可能性が高い。

「カメルーントリビューン（出典文献テキストにイタリックで表示されている）で引用されている 2005 年調査によれば、男性と同居している（既婚か未婚かを問わない）女性の 39% は身体的暴力の犠牲者であり、28% は精神的暴力の犠牲者である。家庭内暴力を禁ずる特別な法律はないが、暴行は違法であり、懲役刑ないし罰金刑が科される。女性の権利擁護者は、家庭内暴力に対する処罰は不十分であると主張している。配偶者虐待は離婚の理由として認められていない。

「...法はセクハラを禁じているが、2008 年に起訴されたケースはわずかである。政府は、セクハラに関する大衆教育キャンペーンも行っていないし、セクハラ事件に関する統計もない。

「女性の権利に関する憲法上の規定があるにもかかわらず、女性は男性と同様な権利や特権を享受することはない。民法のある部分は女性に不利なものとなっている。

「法は、妻が外部で職につき、所帯と家族の利益に反すると抗議を受けた場合は、夫は妻の仕事の権利に反対することが出来るとしている。夫は、妻の商業活動が家族の利害に反することを商事法廷事務所に通告すれば妻の仕事をやめさせることが出来る。

「多くの地域では女性は夫の所有物とみなす伝統があるため、慣習法は更に女性に対して差別的である。慣習と伝統を重視するため、女性を擁護する民法はしばしば無視される。 [2a](5)

## 児童

米国国務省のカメルーン人権レポート 2008 は次のように述べている。

「2008 年中、政府は、児童の権利に関するセミナーへの参加を含め、児童権利・福祉の擁護のための努力を行った。同じ年には、社会問題大臣が声明を発表し、児童の置かれた状況の改善に関する政府のアクションプランを提示した。

「法は児童に教育を受ける権利を与えており、14 歳までは公立学校にて授業料無料で学ぶことが義務付けられている。しかし、小学校の制服と教科書代は父兄の負担となるため、また、中学校以上の教育の授業料等は依然として高額なため、多くの児童にとって教育は大きな負担となっている。2008 年には、政府は、新しく教室を増やした

り、教師を増やしたり、噴水を作ったりして、学校へのアクセスを改善する措置を講じた。

「...FGM（女性器の暴力的切除）を禁じる法はなく、最北部、東部、南西部の僻地ではFGMが慣習的に行われている。

「国内移民の広がりがある国のいろいろな所にFGMが広まる結果を生んだ。FGMのほとんどのケースはクリトリス手術であった。FGMのもっとも極端なやり方は陰門閉鎖で、南西部のカジフ地域で行われている。FGMは、通常、幼児期若しくは初潮前の少女時代に行われる。FGMがしばしば行われる地域の公衆保健センターでは、女性に対し、FGMの後遺症についてカウンセリングを行っている。しかし、政府は、FGMを行った者を起訴することをしていない。

「...結婚最低年齢は15歳であり、多くの家庭では、娘が12歳になるまでには婚姻の手配を進める。早期結婚の風習は、最北部地域に広まっているが、特に北アダムーラでは9歳前後の少女の多くが妊娠により健康を損ねる危険にさらされている。児童婚姻がどの程度広まっているかについての統計はない。」 [2a](セクション5)

## レスビアン、ゲイ、バイセクシャルおよびトランス・ジェンダー

米国国務省のカメルーン人権レポート2008は次のように述べている。

「ホモセックス行為は違法であり、6か月から5年の懲役または約20,000～200,000CFA（40～400ドル）の罰金刑が科される。2008年でいえば、当局は、この法律の下で起訴したことはなく、ホモは、法執行役人から嫌がらせや脅迫を受けた。ホモセックスの虚偽の申告は、敵への嫌がらせや金のゆすりにつながることもある。」 [2a](セクション5)

[目次に戻る](#)  
[出典文献目録に進む](#)

## 信教の自由

米国国務省2008年9月19日発行のカメルーン人権レポート2008は次のように述べている。:

「人口の40%はキリスト教徒、20%がイスラム教徒、そして40%は伝統的な土着宗教を信仰している。キリスト教徒は、ローマカソリックとプロテスタントが半々である。

「キリスト教徒は主に南部と東部に集中しているが、イスラム教徒は全国に広がっている。大きな町では両者が共存している。英語を話す人達の住む西部の二つのプロビンスはほとんどプロテスタントにより占められているが、南部と西部のフランス語を話す人達のプロビンスはほとんどカソリックである。北部のプロビンスでは、多数を占める先住のフラニ族（Peuhl）は大部分がイスラム教徒だが、全体的にはイスラム教、キリスト教、アミニズムがかなり均等に分布している。西部プロビンスのバムン族はほとんどイスラム教徒である。国中の農村地帯では様々な伝統的な土着宗教が信仰されているが、それらは本来地方に根差したものであることもあり、都市部では公然と信仰されることは稀である。

「信教の自由は憲法で保証されており、その他の法律やポリシーも概ね信仰の自由を支持している。すべてのレベルにおいて法は信仰の権利を擁護しており、政府であろうと民間であろうとそれを侵害するものは許されない。

「政府は、名実ともに政教分離の原則に立ち、特定の宗教を支持することはない。

「...宗教的集会に関する法律が政府と宗教団体の関係を規律している。宗教団体はその合法的活動のためには地域行政・地方分権省(MINATD)の承認を受け、登録せねばならない。宗教団体が正式許可なしに活動することは違法である。しかし、この違反を罰する特別な規定はなく、数多くの未登録の小さな宗教団体が自由に活動している。政府が宗教団体の登録に許可を与えなかったという報告はない。

「...魔術の実行は刑法上の刑罰の対象となり、2年から10年の懲役が科される可能性がある。法における‘魔術’とは、‘第三者の身体、財産あるいは物品に害を与えるような奇術あるいは占い術の行為’とされている。通常、魔術に対する罰は、殺人罪などの他の刑罰と併せて起訴されるといわれている。しかし、魔術行為に有罪判決が下ったということは聞いていない。政府は、魔術と伝統的土着信仰とを区別している。法では、魔術とは心的手段で他者に害を与えようとするものと定義されている。

「政府は、実際に信教の自由を尊重している。本報告期間中においても、この政府の方針に変わりはない。

「...宗教的な所属、信仰あるいは慣行に対し社会的迫害が加えられたという報告はない。既に社会的に認められている教会は、未承認の新しい宗教グループ（ほとんどがプロテスタント）を社会の平和と調和にとって有害であると主張し、‘セクト’ないし‘カルト’と言って非難している。しかし、現実には、そのような非難により未承認の宗教団体の活動が抑制されることはなかった。」 [2d]

## 言論と報道の自由

フリーダムハウス 2008年7月発行の世界における自由ワールドレポート 2008：カメルーンには次のように述べられている。

「憲法は自由な発言を保証しているが、真の表現の自由とは何かということは定義が難しい問題である。民間のラジオ局やテレビ局は活動しており、独立新聞も十数紙発行されている。1996年憲法により、出版前検閲制度は廃止されたが、憲章第17条は公共秩序への脅威を理由に新聞を発禁にする権限を役人に与えている。情報への平等アクセスを保証する法規定はなく、名誉棄損や中傷は依然として刑事罰の対象となる。ジャーナリストに対する裁判官による嫌がらせ、逮捕、拘束および拷問が恐怖を生み、メディア（特に国営メディア）の内部検閲につながっている。国営のカメルーントリビューン（出典文献テキストにイタリックで表示されている）およびカメルーンラジオ・テレビ(CRTV)は公報の窓口から政権の広報機関の窓口へと変更された。

「... 学問の自由に関する法規定はないが、国の情報スパイがキャンパスで活動しており、教授達の多くは自己検閲を行っている。」 [21a]

米国国務省 2008年9月19日発行のカメルーン人権レポート 2008 は次のように述べている。

「法律は、言論と報道の自由を認めているが、実際には、政府はこれらの権利を制限している。政府は、ジャーナリストを恣意的に逮捕・拘束している。政府及び CPDM の幹部たちは、その地位を利用して、ジャーナリストにいやがらせをし、彼らの逮捕や身柄拘束を助けている。政府は、報道規定を不定期に改訂し、政府批判に対してはとりわけ厳しい条件を付けている。このため、ジャーナリストやメディアの自己検閲の環境が作り出される結果となっている。政府職員は、範囲の広い名誉棄損法を使って政府を批判するジャーナリストたちを告訴している。

「...一般に、個人は、政府の制裁を受けることなしに公私にわたり政府を批判することが出来る。しかしながら、政府の政策を批判したり、反対意見を述べたりした個人や組織に対して政府役人が嫌がらせをしたり不平等な扱いをしたりしたというケースは極めて多い。」

「...政府及びその職員は、批判を抑えるために名誉棄損法を厳格に適用する。これらの法律では、政府は、その裁量により及び提訴人の要求により、大統領や政府高官に対する名誉棄損の容疑のケースにおいて、民事法廷で処罰を与えたり、刑事法廷に回したりする権限を与えられている。名誉棄損罪には懲役刑または重罰金刑が科される。名誉棄損法は被告に実証責任を課している。政府役人は、この法律を悪用して、国内のジャーナリストが汚職や虐待行為に関するレポートをしないよう仕向けている。」  
[2a](セクション 2a)

目次に戻る  
出典文献目録に進む

## 集会の自由

米国国務省 2008 年 9 月 19 日発行のカメルーン人権レポート 2008 は次のように述べている。

「法は集会の自由を保証しているが、実際には、政府は、集会の権利に制限を加えている。特に、2008 年 2 月に起こったデモと暴動以降、制限を厳しくした。

「法によれば、公開集会、デモ、あるいは行進を組織する場合は事前に役所に通告せねばならないが、公開集会には政府の許可を必要としない。したがって、事前許可がないという理由で公開集会を止めさせる権限は政府にはない。しかしながら、政府役人は、法は暗黙裡に政府に一般集会に対する許可の権限を与えていると主張するのが常である。結果的に、政府は、政府に批判的な人やグループの組織する集会に許可を出さないこともしばしばで、許可の下りていない集会を止めさせるために実力行使をすることもある。[2a](セクション 2b)

## 政治的結社の自由

米国国務省 2008 年 9 月 19 日発行のカメルーン人権レポート 2008 は次のように述べている。

「法は結社の自由を認めているが、実際には、政府は、この権利に制限を加えている。

「政府が政治団体、NGO あるいは協会を認知するにあつたては、厳しく、こまごまとした、そして脈絡のない条件が付けられる。このプロセスは、その活動が許容されて

いるものの正式には許可されていない団体で、不確かな形で活動している団体に対して適用される。

「法は、いかなる形にせよ国家の分離を唱導しようとする組織を禁じており、その結果として、違法集会を組織したという理由で SCNC の集会を政府の役人が妨害すると言うことにもなる。」 [2a](セクション 2b)

目次に戻る  
出典文献目録に進む

## 人身売買

米国国務省 2008 年 9 月 19 日発行のカメルーン人権レポート 2008 は次のように述べている。

「人身売買を完全に禁止する法律はなく、国の内外での人身売買の報告はいくつもある。法は、児童を売買し奴隷とすることは禁じている。また、法は、売春、強制労働及び人身売買に関係するその他の罪を禁じている。

「...伝統的に、女性及び児童は主に性的搾取や強制労働のために売買されるリスクにさらされている。児童の人身売買は国境地帯に多いが、女性のそれは国外へ売られてゆくケースが多い。」 [2a](セクション 5)

米国国務省 2008 年 6 月 4 日発行の人身売買レポート 2008 は次のように述べている。

「カメルーンは、強制労働と商業的性的搾取を目的とした女性と児童の人身売買の発生地、中継地、及び目的地となっている。犠牲者として多いのは、国内で売買される児童、および国内で主に奴隷や売春のために売買される少女である。少年も少女もカメルーン内で、スイートショップ、バー、レストラン、お茶やコーヒーのプランテーションなどでの強制労働のために売られている。ナイジェリア、チャド、中央アフリカ共和国、コンゴ、ベナン、ニジェールなどからカメルーンに売られてくる子供達は、農業、漁業、路上売店、スペアパーツ屋などでの強制労働のためである。カメルーンは、ガボンとナイジェリアの間の人身売買の中継地となっている。また、ナイジェリアからサウジアラビアへ売られる者達の中継国ともなっている。カメルーンは女性のヨーロッパへの性的人身売買ルートの発生地ともなっている。

「カメルーン政府は、人身売買の撲滅のための最低限の基準を十分には果たしていないが、限られた資源の範囲内ではかなり努力していると言ってよいだろう...カメルーンでは人身売買で何人かが逮捕されたという報告はあるが、起訴されたり罰せられたりしたとは聞いていない。

「...カメルーン政府は、昨年、法の施行により人身売買との戦いにある程度の努力をしたが、十分とは言い難い。カメルーンには人身売買を完全に禁じる法律はないが、児童の人身売買と奴隷使役は 2005 年の児童人身売買・奴隷防止法で罰せられる。この法律は、20 年の懲役を科すと規定されているが、これはレイプに対する刑罰に比べると十分に厳しい罰となっている。しかし、政府及び NGO 代表の報告によれば、プロビンスレベルの判事や弁護士は、この 2005 年の児童人身売買に対する法律を知らないと言う。

「人身売買の犠牲者を保護するためにカメルーン政府が昨年中にやって見せた努力は最低限のものであった。政府は、犠牲者のためのシェルターも用意できず、犠牲者を NGO に託すしかなかった。...政府は、人身売買犠牲者を含む弱い立場にある児童達のために 9 か所のセンターを運営したと言われている。政府の役人は、ストリートチルドレンなどの弱者児童の中に人身売買犠牲者を見つけだすための手順に従っていない。政府は、捜査または起訴の助けとなる証拠集めのために犠牲者へのインタビューを行っている。政府は、外国人犠牲者を困難と報復が待っている国に移送する事に代わる法的な代替案を提示していない。

犠牲者たちは、おそらく、人身売買にあった直接の結末として、不法行為のため投獄されたり罰金を科せられたりすることになる。[2b](カメルーンの項)

[目次に戻る](#)  
[出典文献目録に進む](#)

### 3. 主要出典文献の目録

基本データ及び地理	[1]  [2a]  [3]  [4]  [36g]	<p>Central Intelligence Agency (CIA), The World Factbook: Cameroon, last updated 24 February 2009 <a href="https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cm.html">https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cm.html</a> Date accessed 25 February 2009</p> <p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p> <p>Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Cameroon, last updated 7 January 2008 <a href="http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon?profile=all">http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon?profile=all</a> Date accessed 13 August 2008</p> <p>Department of International Development, Country Profile: Cameroon <a href="http://www.dfid.gov.uk/countries/africa/cameroon-dfid-works.asp">http://www.dfid.gov.uk/countries/africa/cameroon-dfid-works.asp</a> Date accessed 13 August 2008</p> <p>BBC News Online Country Profile on Cameroon, 7 November 2008 version <a href="http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1042937.stm">http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1042937.stm</a> Date accessed 19 December 2008</p>
地図	[20]	<p>Map of Cameroon <a href="http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/cameroon.pdf">http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/cameroon.pdf</a> Date accessed 19 February 2009</p>
歴史	[36h]  [3]  [2c]	<p>BBC News Online Timeline on Cameroon, 7 November 2008 version <a href="http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1021488.stm">http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1021488.stm</a> Date accessed 19 December 2008</p> <p>Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Cameroon, last updated 7 January 2008 <a href="http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon?profile=all">http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon?profile=all</a> Date accessed 13 August 2008</p> <p>United States Department of State, Background Note: Cameroon, last updated February 2009 <a href="http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/26431.htm">http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/26431.htm</a> Date accessed 2 March 2009</p>

政治情勢及び その最近の進展	[11a]	Amnesty International (AI) report 2008: Cameroon <a href="http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon">http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon</a> Date accessed 13 August 2008
	[12]	Mail and Guardian Online “Cameroon govt accused of muzzling media over riots”, 29 February 2008 <a href="http://www.mg.co.za/article/2008-02-29-cameroon-govt-accused-of-muzzling-media-over-riots">http://www.mg.co.za/article/2008-02-29-cameroon-govt-accused-of-muzzling-media-over-riots</a> Date accessed 13 August 2008
	[21a]	Freedom House Freedom in the World 2008 Report on Cameroon <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366</a> Date accessed 13 August 2008
	[19]	Institute for Security Studies: Cameroon - Political <a href="http://www.iss.co.za/AF/profiles/Cameroon/History.html">http://www.iss.co.za/AF/profiles/Cameroon/History.html</a> Date accessed 14 August 2008
	[36a]	BBC News Online: How long can Cameroon's Biya rule? 17 March 2008 <a href="http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7300784.stm">http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7300784.stm</a> Date accessed 14 August 2008
	[36f]	BBC News Online: Deadly violence rages in Cameroon, 29 February 2008 <a href="http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7268861.stm">http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7268861.stm</a> Date accessed 13 August 2008
	[10]	Reuters: Cameroon activists say riots kill more than 100, 5 March 2008 <a href="http://www.reuters.com/article/worldNews/idUSL0521512320080305?pageNumber=2&amp;virtualBrandChannel=0">http://www.reuters.com/article/worldNews/idUSL0521512320080305?pageNumber=2&amp;virtualBrandChannel=0</a> Date accessed 13 August 2008
	[24a]	The World Bank, Cameroon, Interim Strategy Note, FY 2007 - 2008 <a href="http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/CAMEROONEXTN/0,,contentMDK:20188888~menuPK:343821~pagePK:1497618~piPK:217854~theSitePK:343813,00.html">http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/CAMEROONEXTN/0,,contentMDK:20188888~menuPK:343821~pagePK:1497618~piPK:217854~theSitePK:343813,00.html</a> Date accessed 13 August 2008
	[24b]	The World Bank Country Brief October 2008 <a href="http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/CAMEROONEXTN/0,,menuPK:343823~pagePK:141132~piPK:141107~theSitePK:343813,00.html">http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/CAMEROONEXTN/0,,menuPK:343823~pagePK:141132~piPK:141107~theSitePK:343813,00.html</a> Date accessed 19 December 2008
	[27]	International Herald Tribune “Another failed state? Cameroon's descent”, 10 April 2008 <a href="http://www.ihf.com/articles/2008/04/10/opinion/edcameroon.php">http://www.ihf.com/articles/2008/04/10/opinion/edcameroon.php</a> Date accessed 13 August 2008

人権—一般的 事項:	[32]	<b>Care International UK - Care in Cameroon</b> <a href="http://www.careinternational.org.uk/11008/cameroon/care-in-cameroon-.html">http://www.careinternational.org.uk/11008/cameroon/care-in-cameroon-.html</a> Date accessed 14 August 2008
	[31b]	<b>United Nations IRIN News: Life in Douala, one of the world's most expensive cities, 12 August 2008</b> <a href="http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=79784">http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=79784</a> Date accessed 14 August 2008
	[30]	<b>Unrepresented Nations and People's Organisation Southern Cameroons: SCNC Members Detained</b> <a href="http://www.unpo.org/content/view/7574/236/">http://www.unpo.org/content/view/7574/236/</a> Date accessed 14 August 2008
	[34]	<b>International Labour Organisation Country Summary: Cameroon</b> <a href="http://www.ilo.org/public/english/dialogue/ifpdial/info/termination/countries/cameroon.htm">http://www.ilo.org/public/english/dialogue/ifpdial/info/termination/countries/cameroon.htm</a> Date accessed 14 August 2008
	[35]	<b>People's Daily Online Low turnout mars Cameroonian legislative elections, 23 July 2007</b> <a href="http://english.people.com.cn/90001/90777/6222261.html">http://english.people.com.cn/90001/90777/6222261.html</a> Date accessed 14 August 2008
	[36a]	<b>BBC News Online: How long can Cameroon's Biya rule? 17 March 2008</b> <a href="http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7300784.stm">http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7300784.stm</a> Date accessed 14 August 2008
	[36b]	<b>BBC News Online: Cameroon head blames opposition, 28 February 2008</b> <a href="http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7267731.stm">http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7267731.stm</a> Date accessed 14 August 2008
	[36c]	<b>BBC News Online: Anger at Cameroon third term hint, 2 January 2008</b> <a href="http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7168103.stm">http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7168103.stm</a> Date accessed 14 August 2008
	[36d]	<b>BBC News Online: 'Low turnout' in Cameroon voting, 22 July 2007</b> <a href="http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/6910434.stm">http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/6910434.stm</a> Date accessed 14 August 2008
	[37a]	<b>Immigration and Refugee Board of Canada: Country Fact Sheet, Cameroon, June 2007</b> <a href="http://www.irb-cisr.qc.ca/en/research/publications/index_e.htm?docid=349&amp;cid=52">http://www.irb-cisr.qc.ca/en/research/publications/index_e.htm?docid=349&amp;cid=52</a> Date accessed 14 August 2008
	[37b]	<b>Immigration and Refugee Board of Canada: National Documentation Package on Cameroon, May 2008</b> <a href="http://www.irb-cisr.qc.ca/en/research/ndp/index_e.htm?id=737">http://www.irb-cisr.qc.ca/en/research/ndp/index_e.htm?id=737</a> Date accessed 19 February 2009
[11a]	<b>Amnesty International (AI) report 2008: Cameroon</b> <a href="http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon">http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon</a>	



		<p><b>Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009</b>  <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a>                      Date accessed 26 February 2009</p>
死刑	<p>[11b] <b>Amnesty International, Abolitionist and Retentionist countries, 1 January 2008, published in April 2008</b>  <a href="http://www.amnesty.dk/loq/D3312-da.pdf">http://www.amnesty.dk/loq/D3312-da.pdf</a></p> <p>[41] <b>Hands off Cain - Cameroon section</b>  <a href="http://www.handsoffcain.info/bancadati/schedastato.php?idstato=10000418&amp;idcontinente=25">http://www.handsoffcain.info/bancadati/schedastato.php?idstato=10000418&amp;idcontinente=25</a>                      Date accessed 19 December 2008</p>	
民族グループ	<p>[25] <b>Ethnologue - Languages of the World (Cameroon section)</b>  <a href="http://www.ethnologue.com/show_country.asp?name=CM">http://www.ethnologue.com/show_country.asp?name=CM</a>                      Date accessed 19 December 2008</p> <p>[2a] <b>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009</b>  <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a>                      Date accessed 26 February 2009</p> <p>[2c] <b>United States Department of State, Background Note: Cameroon, last updated February 2009</b>  <a href="http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/26431.htm">http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/26431.htm</a>                      Date accessed 2 March 2009</p> <p>[3] <b>Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Cameroon, last updated on 7 January 2008</b>  <a href="http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon?profile=all">http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon?profile=all</a>                      Date accessed 13 August 2008</p> <p>[1] <b>Central Intelligence Agency (CIA), The World Factbook: Cameroon, last updated on 24 February 2009</b>  <a href="https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cm.html">https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cm.html</a>                      Date accessed 25 February 2009</p> <p>[21a] <b>Freedom House, Freedom in the World 2008: Cameroon</b>  <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366</a>                      Date accessed 14 August 2008</p>	

<p>言論・報道の自由</p>	<p>[21b]</p>	<p>Freedom House, Freedom of the Press 2008 <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=251&amp;year=2008">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=251&amp;year=2008</a> Date accessed 19 December 2008</p>
	<p>[2a]</p>	<p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p>
	<p>[21a]</p>	<p>Freedom House, Freedom in the World 2008: Cameroon <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366</a> Date accessed 14 August 2008</p>
<p>信教の自由</p>	<p>[2d]</p>	<p>United States Department of State, 2008 International Religious Freedom Report on Cameroon <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/irf/2008/108357.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/irf/2008/108357.htm</a> Date accessed 22 September 2008</p>
	<p>[21a]</p>	<p>Freedom House, Freedom in the World 2008: Cameroon <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366</a> Date accessed 14 August 2008</p>
<p>人権団体、組織及び活動家</p>	<p>[2a]</p>	<p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p>
	<p>[21a]</p>	<p>Freedom House, Freedom in the World 2008: Cameroon <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&amp;year=2008&amp;country=7366</a> Date accessed 14 August 2008</p>
<p>エイズ</p>	<p>[13]</p>	<p>AIDS Education Global Information System Health-Cameroon: Malnutrition, disease stunt children's growth <a href="http://www.aegis.com/news/ips/2003/IP030907.html">http://www.aegis.com/news/ips/2003/IP030907.html</a> Date accessed 13 August 2008</p>
	<p>[14]</p>	<p>The Post Online (Cameroon) <a href="http://www.postnewsline.com/">http://www.postnewsline.com/</a> UNAIDS, MTN encourage HIV/AIDS prevention amongst youths, 5 October 2007 <a href="http://www.postnewsline.com/2007/10/unaid-mtn-enco.html">http://www.postnewsline.com/2007/10/unaid-mtn-enco.html</a> Date accessed 19 December 2008</p>
	<p>[8]</p>	<p>UNAIDS Group of Women in Cameroon Pledges To Fight HIV/AIDS, Address Other Issues at Workshop, 16 July 2008 <a href="http://www.globalhealthreporting.org/article.asp?DR_ID=53322">http://www.globalhealthreporting.org/article.asp?DR_ID=53322</a> Date accessed 13 August 2008</p>
	<p>[23]</p>	<p>Kaisernetwork.org <a href="http://kaisernetwork.org">http://kaisernetwork.org</a> Global Challenges, Cameroon Scientists Call for Improvements to HIV/AIDS Communication Strategy, 22 January 2008</p>

		<p><a href="http://www.kaisernetwork.org/daily_reports/rep_index.cfm?hint=1&amp;DR_ID=49928">http://www.kaisernetwork.org/daily_reports/rep_index.cfm?hint=1&amp;DR_ID=49928</a> Date accessed 14 August 2008</p>
国内避難民 (IDP)	[2a]	<p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p>
司法	[21a]	<p>Freedom House, Freedom in the World 2008: Cameroon <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&amp;year=2008&amp;country=7366">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&amp;year=2008&amp;country=7366</a> Date accessed 14 August 2008</p>
	[2a]	<p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p>
レスビアン、ゲイ、バイセクシュアルおよびトランス・ジェンダ	[2a]	<p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p>
	[29]	<p>State-sponsored Homophobia – a world survey of laws prohibiting same sex activity between consenting adults - Daniel Ottosson, published in May 2008 <a href="http://www.ilga.org/statehomophobia/ILGA_State_Sponsored_Homophobia_2008.pdf">http://www.ilga.org/statehomophobia/ILGA_State_Sponsored_Homophobia_2008.pdf</a> Date accessed 19 February 2009</p>
	[39b]	<p>Behind the Mask “Yaounde 11 men rearrested”, 18 January 2007 <a href="http://www.mask.org.za/article.php?cat=cameroon&amp;id=1437">http://www.mask.org.za/article.php?cat=cameroon&amp;id=1437</a> Date accessed 14 August 2008</p>
	[39a]	<p>Behind the Mask - Cameroon Profile <a href="http://www.mask.org.za/index.php?page=cameroon">http://www.mask.org.za/index.php?page=cameroon</a> Date accessed 13 August 2008</p>
	[37b]	<p>Immigration and Refugee Board of Canada: National Documentation Package on Cameroon <a href="http://www.irb-cisr.gc.ca/en/research/ndp/index_e.htm?id=737">http://www.irb-cisr.gc.ca/en/research/ndp/index_e.htm?id=737</a> Date accessed 19 February 2009</p>
保健医療問題	[17]	<p>Médecins Sans Frontières, International Activity Report 2007 <a href="http://www.msf.org/source/actrep/2008/IAR-2008_complete.pdf">http://www.msf.org/source/actrep/2008/IAR-2008_complete.pdf</a> Date accessed 19 December 2008</p>
	[18a]	<p>World Health Organisation Country Profile: Cameroon <a href="http://www.who.int/countries/cmr/en/">http://www.who.int/countries/cmr/en/</a> Date accessed 13 August 2008</p>
	[18b]	<p>World Health Organisation Mental Health Atlas 2005, Cameroon <a href="http://www.who.int/mental_health/evidence/atlas/profiles_countries_c_d.pdf">http://www.who.int/mental_health/evidence/atlas/profiles_countries_c_d.pdf</a> [scroll down to the Cameroon</p>

		<p>section] Date accessed 13 August 2008</p> <p>[22] Geneva Foundation for Medical Education and Research <a href="http://www.gfmer.ch/Endo/PGC_network/antenatal_screening_sickle_cell_Tchana.htm">http://www.gfmer.ch/Endo/PGC_network/antenatal_screening_sickle_cell_Tchana.htm</a> Date accessed 19 September 2006</p>
兵役	[1]	<p>Central Intelligence Agency (CIA), The World Factbook: Cameroon, last updated 24 February 2009 <a href="https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cm.html">https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cm.html</a> Date accessed 25 February 2009</p>
政治的所属	[2a]	<p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p>
	[21a]	<p>Freedom House, Freedom in the World 2008: Cameroon <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&amp;year=2008&amp;country=7366">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&amp;year=2008&amp;country=7366</a> Date accessed 14 August 2008</p>
人身売買	[2b]	<p>United States Department of State, Trafficking in Persons Report 2008, 4 June 2008 <a href="http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/index.htm">http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/index.htm</a> Date accessed 13 August 2008</p>
	[2a]	<p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p>
刑務所の環境	[3]	<p>Foreign and Commonwealth Office, Country Profile: Cameroon, last updated 7 January 2008 <a href="http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon?profile=all">http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon?profile=all</a> Date accessed 13 August 2008</p>
	[2a]	<p>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009 <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a> Date accessed 26 February 2009</p>
	[31a]	<p>United Nations IRIN News: Feudjio Difo Carlos, Cameroon, “My 16 year old cellmate died and no one came to collect the corpse”, May 2008 <a href="http://www.irinnews.org/HOVReport.aspx?ReportId=78183">http://www.irinnews.org/HOVReport.aspx?ReportId=78183</a> Date accessed 14 August 2008</p>
	[38]	<p>News24.com: Cameroon prison 'hell on earth', 9 August 2008 <a href="http://www.news24.com/News24/Africa/News/0,,2-11-1447_2372079,00.html">http://www.news24.com/News24/Africa/News/0,,2-11-1447_2372079,00.html</a> Date accessed 22 September 2008</p>
治安部隊	[2a]	<p>United States Department of State, Report on Human</p>

		<p><b>Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009</b>  <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a>            Date accessed 26 February 2009</p> <p>[11a] <b>Amnesty International (AI) report 2008: Cameroon</b>  <a href="http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon">http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon</a>            Date accessed 13 August 2008</p>
女性		<p>[2a] <b>United States Department of State, Report on Human Rights Practices 2008 – Cameroon, 25 February 2009</b>  <a href="http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm">http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm</a>            Date accessed 26 February 2009</p> <p>[2b] <b>United States Department of State, Trafficking in Persons Report 2008</b>  <a href="http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/index.htm">http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/index.htm</a>            Date accessed 13 August 2008</p> <p>[11a] <b>Amnesty International report 2008: Cameroon</b>  <a href="http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon">http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon</a>            Date accessed 13 August 2008</p> <p>[21a] <b>Freedom House, Freedom in the World 2008: Cameroon</b>  <a href="http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&amp;year=2008&amp;country=7366">http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=363&amp;year=2008&amp;country=7366</a>            Date accessed 14 August 2008</p> <p>[9] <b>Female Genital Cutting Education and Networking Project            Cameroon: Law Against Circumcision, 20 November 2007</b>  <a href="http://fgmnetwork.org/news/show_news.php?subaction=showfull&amp;id=1195603640&amp;archive=&amp;template=">http://fgmnetwork.org/news/show_news.php?subaction=showfull&amp;id=1195603640&amp;archive=&amp;template=</a>            Date accessed 19 December 2008</p> <p>[16] <b>OMCT - World Organisation Against Torture</b>  <a href="http://www.omct.org/pdf/VAW/Publications/2003/Eng_2003_03_Cameroon.pdf">http://www.omct.org/pdf/VAW/Publications/2003/Eng_2003_03_Cameroon.pdf</a>            Date accessed 14 August 2008</p> <p>[28] <b>Peacewomen.org: Cameroon</b>  <a href="http://www.peacewomen.org/contacts/africa/cameroon/cam_index.html">http://www.peacewomen.org/contacts/africa/cameroon/cam_index.html</a>            Date accessed 13 August 2008</p> <p>[5] <b>Women’s Learning Partnership</b>  <a href="http://learningpartnership.org">http://learningpartnership.org</a>  <b>When women lead change follows</b>  <a href="http://www.learningpartnership.org/en/partners/cameroon">http://www.learningpartnership.org/en/partners/cameroon</a>            Date accessed 14 August 2008</p> <p>[40] <b>InterPressService;            Rights Cameroon: Finally, a Law Against Female Genital Mutilation? 29 June 2006</b>  <a href="http://ipsnews.net/africa/nota.asp?idnews=33811">http://ipsnews.net/africa/nota.asp?idnews=33811</a>            Date accessed 18 August 2008</p>

女性（つづき）	[15c]	<b>UNICEF: Cameroon FGM/ Country Profile</b> <a href="http://www.childinfo.org/files/Cameroon_FGC_profile_English.pdf">http://www.childinfo.org/files/Cameroon_FGC_profile_English.pdf</a> Date accessed 18 August 2008
	[7]	<b>Home Office Border Agency</b> <b>Country of Origin Information Service</b> <b>Report on Female Genital Mutilation, 20 June 2008</b> <a href="http://www.homeoffice.gov.uk/rds/pdfs08/africa-fgm-080708.doc">http://www.homeoffice.gov.uk/rds/pdfs08/africa-fgm-080708.doc</a> Date accessed 18 August 2008
	[37b]	<b>Immigration and Refugee Board of Canada:</b> <b>National Documentation Package on Cameroon, May 2008</b> <a href="http://www.irb-cisr.gc.ca/en/research/ndp/index_e.htm?id=737">http://www.irb-cisr.gc.ca/en/research/ndp/index_e.htm?id=737</a> Date accessed 19 February 2009

目次に戻る  
出典文献目録に進む

## 4. 出典文献に関する参考資料

内務省は外部ウェブサイトの内容には責任を負わない。

- [1] **Central Intelligence Agency (CIA)** [https://www.cia.gov/World Factbook - Cameroon section \(24 February 2009 version\)](https://www.cia.gov/WorldFactbook-Cameroon-section-(24-February-2009-version)-https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cm.html)  
<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/cm.html>  
Date accessed 25 February 2009
- [2] **United States State Department (USSD)** <http://www.state.gov>
  - a Report on Human Rights Practices 2008: Cameroon, published on 25 February 2009  
<http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2008/af/118990.htm>  
Date accessed 26 February 2009
  - b Trafficking in Persons Report 2008: Cameroon, published on 4 June 2008  
<http://www.state.gov/g/tip/rls/tiprpt/2008/index.htm>  
Date accessed 13 August 2008
  - c Background Note: Cameroon, last updated February 2009  
<http://www.state.gov/r/pa/ei/bgn/26431.htm>  
Date accessed 2 March 2009
  - d 2008 International Religious Freedom Report on Cameroon: published on 19 September 2008  
<http://www.state.gov/g/drl/rls/irf/2008/108357.htm>  
Date accessed 22 September 2008
- [3] **Foreign and Commonwealth Office** <http://www.fco.gov.uk/en/>  
Country Profile: Cameroon, last updated on 7 January 2008  
<http://www.fco.gov.uk/en/about-the-fco/country-profiles/sub-saharan-africa/cameroon>  
Date accessed 13 August 2008
- [4] **Department of International Development** <http://www.dfid.gov.uk/>  
Country Profile: Cameroon, last updated on 27 October 2006  
<http://www.dfid.gov.uk/countries/africa/cameroon-dfid-works.asp>  
Date accessed 13 August 2008
- [5] **Women's Learning Partnership** <http://www.learningpartnership.org/>  
When women lead change follows  
<http://www.learningpartnership.org/en/partners/cameroon>  
Date accessed 14 August 2008
- [6] **Africa Governance Monitoring and Advisory Project** <http://www.afrimap.org>  
The gradual disappearance of the particularities of traditional courts Cameroon.  
[http://www.afrimap.org/english/images/paper/Timtchueng\\_Cameroon\\_ENfin.pdf](http://www.afrimap.org/english/images/paper/Timtchueng_Cameroon_ENfin.pdf)  
Date accessed 14 August 2008
- [7] **Home Office, UK Border Agency** <http://www.bia.homeoffice.gov.uk/>  
COI Service Report on Female Genital Mutilation, 20 June 2008  
<http://www.homeoffice.gov.uk/rds/pdfs08/africa-fgm-080708.doc>  
Date accessed 18 August 2008
- [8] **UNAIDS** <http://www.unaids.org>  
The Group of Women in Cameroon Pledge to Fight HIV/AIDS, address other issues at workshop, 16 July 2008  
[http://www.globalhealthreporting.org/article.asp?DR\\_ID=53322](http://www.globalhealthreporting.org/article.asp?DR_ID=53322)  
Date accessed 13 August 2008

- [9] **Female Genital Cutting Education and Networking Project**  
Cameroon: Law Against Circumcision, 20 November 2007  
[http://fgmnetwork.org/news/show\\_news.php?subaction=showfull&id=1195603640&archive=&template=](http://fgmnetwork.org/news/show_news.php?subaction=showfull&id=1195603640&archive=&template=)  
Date accessed 19 December 2008
- [10] **Reuters** <http://www.reuters.com/>  
“Cameroon activists say riots kill more than 100”, 5 March 2008  
<http://www.reuters.com/article/worldNews/idUSL0521512320080305?pageNumber=2&virtualBrandChannel=0>  
Date accessed 13 August 2008
- [11] **Amnesty International (AI)** <http://www.amnesty.org/>  
a Amnesty International report 2008: Cameroon  
<http://thereport.amnesty.org/eng/regions/africa/cameroon>  
Date accessed 13 August 2008  
b The Death Penalty: Abolitionist and Retentionist countries  
1 January 2008, published in April 2008  
<http://www.amnesty.dk/log/D3312-da.pdf>  
Date accessed 13 August 2008  
c Cameroon: Impunity Underpins Persistent Abuse, 29 January 2009  
<http://www.amnesty.org/en/library/info/AFR17/001/2009/en>  
Date accessed 30 January 2009
- [12] **Mail and Guardian Online** <http://www.mg.co.za/>  
“Cameroon govt accused of muzzling media over riots”, 29 February 2008  
<http://www.mg.co.za/article/2008-02-29-cameroon-govt-accused-of-muzzling-media-over-riots>  
Date accessed 13 August 2008
- [13] **AIDS Education Global Information System** <http://www.aegis.com/>  
Health-Cameroon: Malnutrition, disease stunt children’s growth  
<http://www.aegis.com/news/ips/2003/IP030907.html>  
Date accessed 13 August 2008
- [14] **The Post Online (Cameroon)** <http://www.postnewsline.com/>  
UNAIDS, MTN encourage HIV/AIDS prevention amongst youths,  
5 October 2007  
<http://www.postnewsline.com/2007/10/un aids-mtn-enco.html>  
Date accessed 19 December 2008
- [15] **UNICEF** <http://www.unicef.org/>  
a Background: Cameroon,  
[http://www.unicef.org/infobycountry/cameroon\\_2250.html](http://www.unicef.org/infobycountry/cameroon_2250.html)  
Date accessed 13 August 2008  
b With mothers’ help, more girls are going to school in Cameroon  
[http://www.unicef.org/infobycountry/cameroon\\_39815.html](http://www.unicef.org/infobycountry/cameroon_39815.html)  
Date accessed 13 August 2008  
c Cameroon FGM/ Country Profile  
[http://www.childinfo.org/files/Cameroon\\_FGC\\_profile\\_English.pdf](http://www.childinfo.org/files/Cameroon_FGC_profile_English.pdf)  
Date accessed 18 August 2008
- [16] **OMCT - World Organisation Against Torture** <http://www.omct.org/>  
Violence against women in Cameroon  
[http://www.omct.org/pdf/VAW/Publications/2003/Eng\\_2003\\_03\\_Cameroon.pdf](http://www.omct.org/pdf/VAW/Publications/2003/Eng_2003_03_Cameroon.pdf)  
Date accessed 14 August 2008
- [17] **Médecins Sans Frontières** <http://www.msf.org/>  
International Activity Report 2007  
[http://www.msf.org/source/actrep/2008/IAR-2008\\_complete.pdf](http://www.msf.org/source/actrep/2008/IAR-2008_complete.pdf)  
Date accessed 19 December 2008

- [18] **World Health Organisation (WHO)** <http://www.who.int/en/>  
a Country Profile: Cameroon  
<http://www.who.int/countries/cmr/en/>  
Date accessed 13 August 2008  
b Mental Health Atlas 2005, Cameroon  
[http://www.who.int/mental\\_health/evidence/atlas/profiles\\_countries\\_c\\_d.pdf](http://www.who.int/mental_health/evidence/atlas/profiles_countries_c_d.pdf) [scroll down to the Cameroon section]  
Date accessed 13 August 2008
- [19] **Institute for Security Studies** <http://www.iss.co.za>  
Cameroon - Political  
<http://www.iss.co.za/AF/profiles/Cameroon/History.html>  
Date accessed 20 June 2006
- [20] **Map of Cameroon**  
<http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/cameroon.pdf>  
Date accessed 19 February 2009
- [21] **Freedom House**  
a Freedom in the World 2008: Cameroon  
<http://www.freedomhouse.org/template.cfm?page=22&year=2008&country=7366>  
Date accessed 15 August 2008  
b Freedom of the Press 2008, published in April 2008  
<http://www.freedomhouse.org/uploads/fop08/CountryReportsFOTP2008.pdf>  
Date accessed 19 February 2009
- [22] **Geneva Foundation for Medical Education and Research**  
<http://www.gfmer.ch>  
Antenatal screening of Sickle Cell disease - Cameroon  
[http://www.gfmer.ch/Endo/PGC\\_network/antenatal\\_screening\\_sickle\\_cell\\_Tchana.htm](http://www.gfmer.ch/Endo/PGC_network/antenatal_screening_sickle_cell_Tchana.htm)  
Date accessed 14 August 2008
- [23] **Kaisernetwork.org** <http://kaisernetwork.org>  
Global Challenges, Cameroon Scientists Call for Improvements to HIV/AIDS Communication Strategy, 22 January 2008  
[http://www.kaisernetwork.org/daily\\_reports/rep\\_index.cfm?hint=1&DR\\_ID=49928](http://www.kaisernetwork.org/daily_reports/rep_index.cfm?hint=1&DR_ID=49928)  
Date accessed 14 August 2008
- [24] **The World Bank** <http://www.worldbank.org/>  
a The World Bank, Cameroon, Interim Strategy Note, FY 2007 - 2008  
<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/CAMEROONEXTN/0,,contentMDK:20188888~menuPK:343821~pagePK:1497618~piPK:217854~theSitePK:343813,00.html>  
Date accessed 13 August 2008  
b Country Brief October 2008  
<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/AFRICAEXT/CAMEROONEXTN/0,,menuPK:343823~pagePK:141132~piPK:141107~theSitePK:343813,00.html>  
Date accessed 19 December 2008
- [25] **Ethnologue - Languages of the World (Cameroon section)**  
[http://www.ethnologue.com/show\\_country.asp?name=CM](http://www.ethnologue.com/show_country.asp?name=CM)  
Date accessed 19 December 2008
- [26] **United States Department of Labour** <http://www.dol.gov/>  
Incidence and nature of child labour  
<http://www.dol.gov/ilab/media/reports/iclp/tda2004/cameroon.htm>  
Date accessed 13 August 2008

- [27] **International Herald Tribune** <http://www.ihrt.com/?pass=true>  
“Another failed state? Cameroon’s descent”, 10 April 2008  
<http://www.ihrt.com/articles/2008/04/10/opinion/edcameroon.php>  
Date accessed 13 August 2008
- [28] **Peacewomen.org** <http://www.peacewomen.org/>  
Cameroon  
[http://www.peacewomen.org/contacts/africa/cameroon/cam\\_index.html](http://www.peacewomen.org/contacts/africa/cameroon/cam_index.html)  
Date accessed 14 August 2008
- [29] **The International Lesbian and Gay Association (ILGA)** <http://www.ilga.org/>  
State-sponsored Homophobia – a world survey of laws prohibiting same sex activity between consenting adults,- Daniel Ottosson, published in May 2008  
[http://www.ilga.org/statehomophobia/ILGA\\_State\\_Sponsored\\_Homophobia\\_2008.pdf](http://www.ilga.org/statehomophobia/ILGA_State_Sponsored_Homophobia_2008.pdf)  
Date accessed 19 February 2009
- [30] **Unrepresented Nations and People’s Organisation** <http://unpo.org>  
Southern Cameroons: SCNC Members Detained  
<http://www.unpo.org/content/view/7574/236/>  
Date accessed 14 August 2008
- [31] **United Nations IRIN News.org** <http://www.irinnews.org/>  
a Feudjio Diffo Carlos, Cameroon, “My 16 year old cellmate died and no one came to collect the corpse”, May 2008  
<http://www.irinnews.org/HOVRReport.aspx?ReportId=78183>  
Date accessed 14 August 2008  
b “Life in Douala, one of the world’s most expensive cities”,  
12 August 2008  
<http://www.irinnews.org/Report.aspx?ReportId=79784>  
Date accessed 14 August 2008
- [32] **Care International UK** <http://careinternational.org.uk>  
Care in Cameroon  
<http://www.careinternational.org.uk/11008/cameroon/care-in-cameroon-.html>  
Date accessed 14 August 2008
- [33] **Catholic News Service** <http://www.catholicnews.com/>  
In Cameroon, Catholic schools’ pilot program to fight corruption, 30 June 2006  
<http://www.catholicnews.com/data/stories/cns/0603114.htm>  
Date accessed 14 August 2008
- [34] **International Labour Organisation** <http://www.ilo.org>  
Country Summary: Cameroon  
<http://www.ilo.org/public/english/dialogue/ifpdial/info/termination/countries/cameroon.htm>  
Date accessed 14 August 2008
- [35] **People’s Daily Online** <http://english.peopledaily.com.cn/>  
Low turnout mars Cameroonian legislative elections, 23 July 2007  
<http://english.people.com.cn/90001/90777/6222261.html>  
Date accessed 14 August 2008
- [36] **BBC News Online** <http://news.bbc.co.uk>  
a How long can Cameroon’s Biya rule? 17 March 2008  
<http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7300784.stm>  
Date accessed 14 August 2008  
b Cameroon head blames opposition, 28 February 2008  
<http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7267731.stm>  
Date accessed 14 August 2008  
c Anger at Cameroon third term hint, 2 January 2008  
<http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7168103.stm>

- d **Date accessed 14 August 2008**  
'Low turnout' in Cameroon voting, 22 July 2007  
<http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/6910434.stm>
- e **Date accessed 14 August 2008**  
Nigeria cedes Bakassi to Cameroon, 14 August 2008  
<http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/7559895.stm>
- f **Date accessed 15 August 2008**  
Deadly violence rages in Cameroon, 29 February 2008  
<http://news.bbc.co.uk/2/hi/africa/7268861.stm>
- g **Date accessed 13 August 2008**  
Country Profile: Cameroon, 7 November 2008 version  
[http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country\\_profiles/1042937.stm](http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1042937.stm)
- h **Date accessed 19 December 2008**  
Timeline: Cameroon, 7 November 2008 version  
[http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country\\_profiles/1021488.stm](http://news.bbc.co.uk/1/hi/world/africa/country_profiles/1021488.stm)  
**Date accessed 19 December 2008**
- [37] **Immigration and Refugee Board of Canada** <http://www.irb-cisr.gc.ca/>  
a Country Fact Sheet, Cameroon, June 2007  
[http://www2.irb-cisr.gc.ca/en/research/publications/index\\_e.htm?docid=349&cid=52](http://www2.irb-cisr.gc.ca/en/research/publications/index_e.htm?docid=349&cid=52)  
**Date accessed 14 August 2008**  
b National Documentation Package on Cameroon, 2 May 2008  
[http://www2.irb-cisr.gc.ca/en/research/ndp/index\\_e.htm?id=737](http://www2.irb-cisr.gc.ca/en/research/ndp/index_e.htm?id=737)  
**Date accessed 19 February 2009**
- [38] **News24.com** <http://www.news24.com/News24/Home/>  
Cameroon prison "hell on earth", 9 August 2008  
[http://www.news24.com/News24/Africa/News/0,,2-11-1447\\_2372079,00.html](http://www.news24.com/News24/Africa/News/0,,2-11-1447_2372079,00.html)  
**Date accessed 22 September 2008**
- [39] **Behind the Mask** (gay rights NGO)  
a Cameroon Profile  
<http://www.mask.org.za/index.php?page=cameroon>  
**Date accessed 18 August 2008**  
b Behind the Mask  
"Yaounde 11 men rearrested", 18 January 2007  
<http://www.mask.org.za/article.php?cat=cameroon&id=1437>  
**Date accessed 14 August 2008**
- [40] **InterPressService**  
Rights Cameroon: Finally, a Law Against Female Genital Mutilation?  
29 June 2006  
<http://ipsnews.net/africa/nota.asp?idnews=33811>  
**Date accessed 18 August 2008**
- [41] **Hands off Cain - Cameroon section**  
<http://www.handsoffcain.info/bancadati/schedastato.php?idstato=10000418&idcontinente=25>  
**Date accessed 19 December 2008**

目次に戻る